別紙様式

意見交換会実施報告書

平成 30 年 12 月 19 日

登米市議会議長　及川　昌憲　　様

第２班　代表者　工藤　淳子

１．意見交換会の概要

<table>
<tr><td colspan="2">開催日時</td><td>平成 30 年 10 月 19 日　　午後７時 00 分　～　８時 30 分</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催場所</td><td>登米公民館　講座室</td></tr>
<tr><td colspan="2">出席議員</td><td>代表者：工藤淳子
司会者：須藤幸喜
座　長：伊藤　栄
報告者：岩渕正弘
記録者：関　　孝
及川昌憲</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加市民数</td><td>27　人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>議会報告</td><td>・議会活動報告について
議会改革について
・財政状況について
30 年度一般会計予算及び当初予算の主なものについて
・常任委員会からの報告</td></tr>
<tr><td>意見交換</td><td>・『登米市の地域医療を考える』
地域医療の現状と方向性を説明</td></tr>
</table>

２．市民の質問・意見等

会場で回答したもの	質　問	（医療） １．登米診療所の民営化も一つの選択肢ではないか。市長から議会に相談はなかったか。 ⇒　いまのところ議会に対して相談はない。 ２．「登米診療所を再開させたい」としているが、その後どうなっているか。 ⇒　基幹型臨床研修病院の指定を目指しており、医師が増えた段階で再開するものと理解している。 ３．臨床研修病院の指定は不可能でないか。 ⇒　指導医が少ないなどの課題があるが、２年後の指定を目指し、努力している。 ４．先日のシンポジウムで、病院事業管理者から独立行政法人化の話をされたが、議会はどう考えるか。 ⇒　初めて聞いた内容である。今後のあり方について皆さんの意見もふまえ検討していく。 ５．病院改革について合併以来、何も進んでいない。議会は何をしてきたのか。 ⇒　何もしてこないわけではない。累積欠損金の大幅な増加は、会計制度が変わったことも要因である。すべてが借金ではない。
	意　見	（組織） １．人事委員会、公平委員会の設置を。 ⇒　設置基準があり、本市では設置できない。 ２．合併時から市職員の定数条例が変更されておらず、職員が多すぎる。 ⇒　確認して報告する。
会場で回答していないもの	意　見	（医療） １．医療をテーマに意見交換できる機会は有り難い。市民みずからが考える機会を継続してほしい。どうしたらいいか共に考えて行きたい。 ２．医者がいないなら、全国から集める努力をすべき。 ３．米谷病院の診察時間がかかり過ぎる。薬剤師が不足しているのでは。 ４．米谷病院の通院バスが不便である。 ５．臨床研修病院に指定されても、指導できる医師がいなく、勉強できる材料（症例）が少ないことから研修生は来ない。都会で勉強し、腕をつけた医師を招聘することが効果的である。 ６．医療を取り巻く環境について、時代が変わっている。ないものねだりでなく、批判はやめてどうしていくか考えるべき。 （意見交換会） １．意見交換の時間が足りない。

会場で回答していないもの	要　望	（医療） １．休日、救急外来で市民病院の対応にがっかりした。 敷居を低くしてほしい。
	提　言	（医療） １．どういう医療を提供するか考えるべき。医師が増えないなら、予防医療に力を入れるべき。（北海道夕張市では、病院の医師が半分以下に減るなか、保健師の活躍で検診の受診率を向上させるなど、平均寿命 2.8 歳、健康寿命 17 歳伸ばしている） ２．医療問題は、毎月でも定例会のような懇談をしてはどうか。 ３．医療タクシー・バスを月２回位走らせ、利便性を図ってはどうか。（半額程度の自己負担で）
その他 特記事項		・河北新報社記者が出席された。 ・他市の医療関係者が傍聴された。 ・他町域（迫、津山、南方など）からの参加者が多く見られた。